



昨冬期を労使で振り返ろう！

申10号 2016年度冬期検証に関する申し入れ

新潟地本は、地本申10号として「2016年度冬期検証に関する申し入れ」を新潟支社に提出しました。

2016年度冬期は全体としては小雪であったと言えるものの、私たちが警鐘を鳴らした寒冷地におけるE129系の車両性能による輸送障害をはじめとし、上越線、只見線の除雪体制に端を発した運休などお客さまに多大なご迷惑をおかけする事態を招きました。これらは労使で継続して議論を行ってきた課題であり、設備投資の優先順位及び冬期体制の見直しを実態に併せて大胆に行うべきであると認識しています。

また、冬にこそご利用頂ける鉄道を実現させていくためには申6号「お客さま・社員の命を守る運行体制の確立を求める緊急申し入れ」の団体交渉における設備系統の現場社員の要員を含めた作業実態の改善や、申3号「E129系運用に伴う輸送障害の解消に向けた緊急申し入れ」における各項目及び今冬期に立ち現れた課題を一つひとつ解決していかなければなりません。

申10号 申し入れ項目

【要員・取扱い関係】

1. 冬期体制を12月1日からとすること。
2. 越後湯沢駅の冬期要員の見直しをすること。・・・他5項目

【事象関係】

1. 3月29日に発生した只見線大白川～只見間2422D雪の塊と衝突した事象の根本的な原因を明らかにすること。
2. 只見線における投排雪保守用車導入以降、雪を抱えて停車する事象が多数発生していることについて検証結果を明らかにすると共に、除雪体制及び除雪方法を見直すこと。・・・他3項目

【車両関係】

1. E129系A-26編成の雪用ワイパーの検証方法と検証結果を明らかにすること。
2. E129系信越本線下り鯨波～柏崎駅間のセクションで発生するVVVF重故障やOVD点灯の原因を明らかにするとともに対策を講じること。
3. E129系ディスクブレーキ凍結対策を講じること。
4. ブレーキ効果確認の為E129系運転台前面に電気ブレーキNFBを設置すること。また、勾配起動スイッチを走行中に使用できるようにすること。・・・他4項目

【設備関係】

1. 白新線早通～豊栄駅間下り第1閉そく信号機の着雪対策を万全とすること。
2. 1月14日の越後川口駅構内における投排雪保守用車の入換えにおいて、装置の故障により絶縁から短絡に切り替わった原因と対策を明らかにすること。・・・他4項目